

各 位

上場会社名 株式会社 タカキタ
代表者 代表取締役社長 松本 充生
(コード番号 6325)
問合せ先責任者 取締役専務執行役員管理本部長 沖 篤義
(TEL 0595-63-3111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年3月期通期個別業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	430	460	290	25.15
今回修正予想(B)	5,800	156	186	120	10.40
増減額(B-A)	△900	△274	△274	△170	
増減率(%)	△13.4	△63.7	△59.6	△58.6	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	6,432	378	420	262	22.78

修正の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想において農業機械事業における小型肥料散布機等の新製品投入効果や、国の畜産クラスター事業による細断型シリーズを中心とした高額製品の受注残が採択されることを想定し、需要期である第2四半期で一定の増収を見込んでおりましたものの、当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、国産農産物の消費低迷等に伴う農業従事者における機械投資意欲の減退や、実演活動の自粛を含めた国内外における営業活動の縮減に加えて、畜産クラスター事業の採択遅れの影響を受け、エサづくり関連作業機等の受注が大幅に減少となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響は依然として厳しい状況にあるなか、一定レベルの社会経済活動が再開されておりますが、主力の農業機械事業におきましては、引き続き国内外における営業活動の縮減が懸念され、軸受事業においては産業界全体の設備投資の動向等が依然として先行き不透明であります。

そのような状況下と当第2四半期累計期間の結果を踏まえ、当第3四半期以降は畜産クラスター事業による受注残の採択が一定程度進み、上半期の落ち込みをカバーするまでには至りませんが、前回公表時に想定していた前年下期程度の基調で売上が推移すると見通して、業績予想を算出いたしました。

今後、国内外における新型コロナウイルス感染症の動向等により、当社の業績は大きく変動する可能性があります。業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上